キャラクター名
剣崎 タツト(ケンザキ タツト)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17歳	性別	男性
覚醒	生誕	衝動	殺戮	初期侵食率	39 %
出自	親の理解	経験	小さな名誉	邂逅	自身：敷島 あやめ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	2	0	0			2
精神	0	1	0			1
社会	2	0	0			2

HP	29
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウェポン	白兵	4r+4	3	SL＋7		ハンティングナイフ製作。ダブルクリエイトで2本作成
スケーラー・スケーラー	白兵	4r+4	6	[SL+7]*2+[SL*10]		1+5+6*2。2+3前提。範囲攻撃、大火力。コスト13。
キロ・スケーラー	白兵	4r+4	6	[SL+7]*2+[SL*5]		1+5+6。2+3前提。範囲攻撃、中火力。コスト9。
メガ・スケーラー	白兵	4r+4	6	[SL+7]*2+[SL*10]		1+6*2。2+3前提。単体攻撃、大火力。コスト10。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
応急手当キット	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
治癒の力を持つ少女	P 庇護	N 不安		
PC③：MM地区支部長	P 信頼	N 劣等感		
剣崎家	P 幸福感	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト(モルフェウス)	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：	判定C値－［SL］							
インフィニティウェポン	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：	白兵用武器製作							
ダブルクリエイト	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：	インフィニティウェポンで製作する武器を2つに変更							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：	戦闘移動(離脱・封鎖可)※シーン1回							
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	白兵/射撃	-	
効果：	攻撃対象を範囲(選択)へ変更※使用後は武器破壊							
咎人の剣	3	4	メジャー	-	-	白兵	リミット	
効果：	インフィニティウェポンで製作した武器の攻撃力＋[SL*5]点							
竜鱗	3	3	リアクション	至近	自身	-	-	
効果：	装甲値＋[SL*10]点							
衝撃相殺	2	基本値＋4	リアクション	至近	自身	-	リミット	
効果：	竜鱗使用時被ダメ-[SL*5]点							
壁抜け	★	-	メジャー	至近	自身	-	-	
効果：	どこでも通り抜ける。							
折り畳み	★	-	メジャー	至近	自身	-	-	
効果：	なんでも隠す。							
効果：								
効果：								
効果：								

「俺は剣崎タツト、タツトでいいよ。よろしくな」

【概要】
一人称:俺・僕、二人称:君・あなた。MM地区支部所属のチルドレンであり、普段は地区内の公立高校に通っている高校2年生。
穏和かつ親しみやすい性格で、クラスのだいたいの男子および活発めな女子陣と広く浅く仲が良い。帰宅部だけど助っ人によく呼ばれるし、任務により出席がまばらな中でも修学旅行の班決めで「とりまアイツも誘っとくか」となるタイプ。努力家であり、勉学の成績も結構優秀。
幼少期からMM地区支部に所属しているため、UGNチルドレン歴もそれなりに長い。潜入に適したモルフェウスの能力(EE)と、独自にモルフェウス・キュマイラの能力を攻守に落とし込んだ近接戦法を活かした斥候的な任務が得意。

【生い立ち】
剣崎夫妻といえば、UGN日本支部本部に所属する多少名の通ったオーヴァードである。タツトは、夫婦ともに優れたキュマイラ能力者である彼らの一人っ子として生を受けた。当然のようにキュマイラの能力と---何故か、己が肉体こそを至高の武器とする彼らとは相反する、モルフェウスの能力を授かって。実際、彼の身体に顕れるキュマイラの特徴は鎧代わりの鱗が生えたり、一時的に髪や瞳の色が変化する程度だったが、夫婦がそれを悲観することは決してなかった。むしろ自分達にはない能力を大いに喜んで尊重してくれたし、オーヴァードとしてではなくただの家族としても、忙しい中ありったけの愛情を注いでくれたとタツトは認識している。
とはいえ幼子と暮らすには夫婦はあまりに多忙だったため、タツトは家から程近いMM地区支部に所属し、その一員として育ってきた。今も両親との仲は良好だし、MM地区支部には恩も情も深い。だが、何か…決して普段は言葉にしないよう留めている「何か」が胸に燻っていることも事実である。

【性格とか】
穏やかで人見知りをしない性分に加えて、優等生振りなところがある。様々な境遇のオーヴァードを目にしてきたからか、いつの頃からか板についていた「自分は世間一般的な水準でいうと恐らく、平穏さに恵まれている方だ」という感覚が育てた年齢不相応な落ち着きと諦念が、彼を若者らしい叛逆から遠ざけてきた。だが一方で、胸に燻る「何か」が他人との比較から来る反骨精神めいたものであることにも、薄々気付いている。17歳にもなって反抗期だなんて見苦しい。けれ